

# Heart to Heart

久御山町立御牧小学校 第43号 平成19年1月23日(火)

## 第2回 学校評価の結果について

2学期末に実施した平成18年度第2回「学校に関するアンケート」の結果に加えて、教職員が行った「学校評価アンケート」の結果をお知らせします。1学期の結果と比較して良くなってきている面がある一方、まだまだ努力していかなければならない面も多々あります。3学期の教育活動に生かすとともに、来年度に向けて職員一同心を砕いていきたいと考えています。保護者や地域の方の御理解御協力をよろしくお願いいたします。

【数値は、(A)強く思う(B)そう思う(C)あまり思わない(D)まったく思わないのうち (A)(B)評価の割合を%で表しています。】

### 児童アンケート結果

#### 1学期より良くなっているのは・・・

- 先生は授業でわかりやすく黒板に図や字をかいたり説明したり、実験・観察したり、コンピュータを使ったり、学校外へ見学に行くなど先生は教え方にいろいろ工夫している。( + 2% = 90% )
- 家の方はよく話を聞いてくれて、応援してくれる。( + 5% = 87% )
- 自分は、勉強がよくわかる。( + 2% = 84% )
- 学校で使う道具がこわれたとき、すぐ修理したり取りかえてもらえる。( + 10% = 82% )
- 学級をきれいにそうじしている。( + 2% = 82% )
- 家族や地域の人にあいさつができる。( + 3% = 76% )

#### 1学期より悪くなっているのは・・・

- ルールを守った行動ができていない。( - 3% = 80% )
- 地域や近所の人に声をかけてもらっていない。( - 3% = 75% )

#### 課題 (70%未満)

- 勉強のことやいろいろなことを先生に話ができる。(1学期と同じく63%)
- 授業中、自分の意見をよく発表する。(1学期と同じく65%)

### 保護者アンケート結果

#### 特に高い評価(90%を超えているもの)になっているのは・・・

- 学校はきれいに整備されている。(整理整頓、花壇整備、掲示板など)
- 学校は子どもの学校内外の安全確保に努めている。(避難訓練、パトロール、校門鎖、PTA札など)
- 子どもは楽しんで学校に通っている。
- 学校は保護者に授業や行事など、様々な教育活動への参加を呼びかけている。
- 家庭では子どもとのふれあいに努め、対話や一緒に過ごす時間を大切にしている。

#### 1学期と同じ項目が高い評価となっています。

#### 1学期より良くなっているのは・・・

- 子どもは家庭や地域であいさつができる。( + 4% = 77% )
- 保護者や地域の方は子どもたちに声かけやあいさつをよくしている。( + 6% = 83% )
- 家庭では子どもとのふれあいに努め、対話や一緒に過ごす時間を大切にしている。( + 4% = 95% )

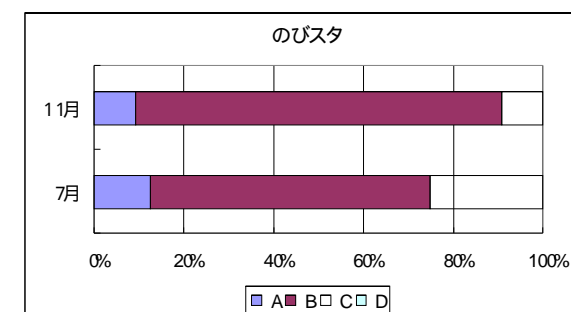
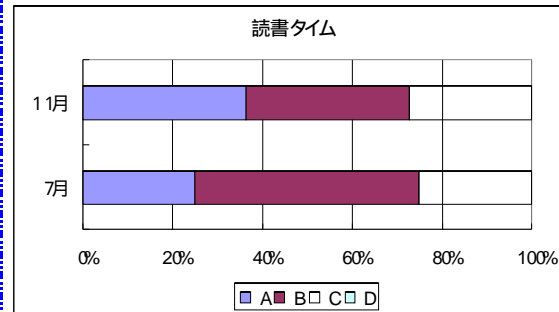
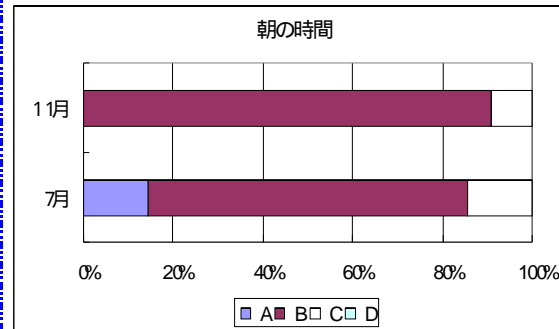
#### 児童、保護者のアンケートで、一致して上昇しているのが

家の方はよく話を聞いてくれて、応援してくれる。(児童)  
家庭では子どもとのふれあいに努め、対話や一緒に過ごす時間を大切にしている。(保護者)  
嬉しいことです。御家庭での温かい励ましやふれあいが児童の生活の基盤です。学習のこと、学校生活のこと、人間としての生き方のことなど子どもの思いや実態をよく知っていただき、今後とも、誉めて誉めて、そして社会のマナーや善悪の判断等を教え、諭し、子どもの成長を見守っていただきたいと思います。

## 継続は力なり！

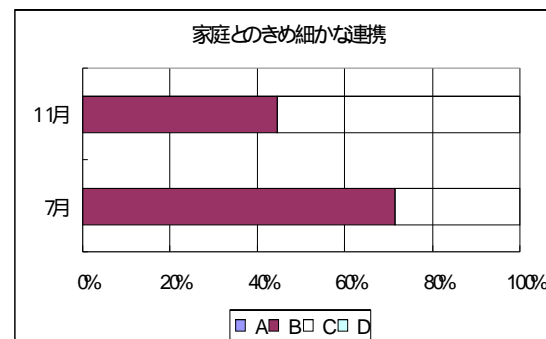
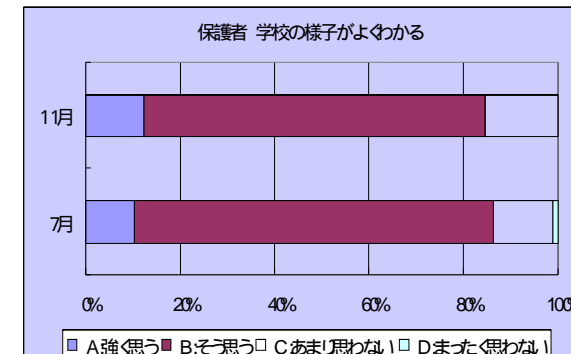
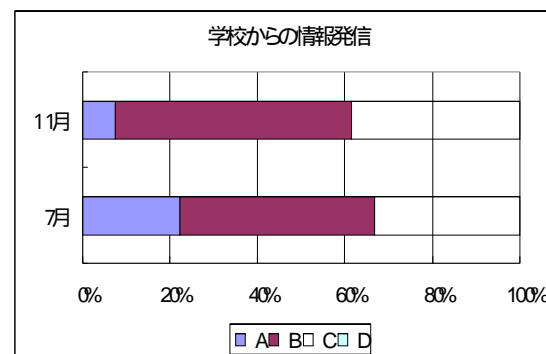
教職員の自己評価結果で、教育課程外の時間(朝学習:国語学習、のびのびスタディタイム:算数学習、読書タイム)が定着し、児童の学力向上の実感が上昇してきています。時間の有効活用により、集中力もついていきます。

特に、読書タイムは週4回の掃除の後に設定されています。読書は全ての学習の基盤となる国語力のアップにつながります。普段から読む本が身近にある生活を心がけたいものです。



A:十分達成されている B:ほぼ達成されている C:あまり達成されていない D:ほとんど達成されていない

## 学校と家庭・地域の双方向の情報発信を積極的に！



教職員の自己評価では、「学校からの情報発信」及び「家庭とのきめ細かな連携」について、十分満足できるものではないと判断している教職員が多いと言えます。

学校や学級の様子は学校日より学年日より等で定期的にお知らせしていますが、子どもたちの具体的な姿が想像できるような知らせ方を工夫していく必要があると思います。また、個々の子どもたちの頑張りなどをもっと評価していきたいです。そのために、家庭でのふれあいの様子や対話、子どもの様子などを保護者の方からも

もっと提供してもらえれば嬉しいです。学校からの発信、家庭地域からの発信については、お互いに受け止めまた発信するという双方向かつ継続を心がけたいと思います。